

財務概要 【平成26年度】

本学では、財務情報の公開にあたり、文部科学省私学部長通知(平成16年7月23日)の様式例に従って、次の計算書類を公開しております。

I 資金収支計算書

《資金収支計算の目的》 学校法人会計基準 第6条より

学校法人は、毎会計年度、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度における支払資金(現金及びいつでも引き出すことができる預貯金)の収入及び支出のてん末を明らかにするため、資金収支計算を行なうものとする。

資金収支計算書は企業会計では作成されない計算書類です。

企業では資金状況を開示するために『キャッシュ・フロー計算書』が作成されます。

II 消費収支計算書

《消費収支計算の目的》 学校法人会計基準 第15条より

学校法人は、毎会計年度、当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにするため、消費収支計算を行なうものとする。

消費収支計算書も資金収支計算書同様、企業会計では作成されませんがその内容は、企業会計で作成される『損益計算書』に類似しています。

III 貸借対照表

企業会計で作成される『貸借対照表』とほぼ同じ内容となっています。

一般的な企業では流動性の高いものから順に表示しますが(流動性配列法)

学校会計では固定性の高いものから順に表示しています(固定性配列法)。

これは、学校法人が存続するために「土地」「建物」「備品」等の固定資産が非常に重要であることを示しています。(構成については後述参照ください。)

IV 財産目録

財産目録は企業会計では作成されませんが、その内容は、資産及び負債の詳細を表しており、貸借対照表の補完的なものとなっています。

貸借対照表の構成



[資産 = 負債 + 基本金 + 消費収支差額] となり常にバランスしていることから貸借対照表のことを『バランスシート』とも言います。

①資産について



②負債について



固定〇〇・・・貸借対照日の翌日から一年を超えて決済するもの
 流動〇〇・・・貸借対照日の翌日から一年以内に決済するもの

③基本金について

③基本金 学校存続のため、永続的に必要な資金

- 第1号基本金 学校法人が教育のために使用する固定資産の価額
- 第2号基本金 将来必要となる固定資産の取得に充てる積立預金等
- 第3号基本金 奨学基金等、基金として継続的に保持し運用する資金
- 第4号基本金 学校法人の運営に必要な資金（運転資金）

④消費収支差額について



資金収支計算書

平成26年4月 1日から
平成27年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,750,051,000	2,752,704,050	△ 2,653,050
手数料収入	33,230,000	28,763,995	4,466,005
寄付金収入	196,850,000	211,495,000	△ 14,645,000
補助金収入	964,429,000	1,000,716,403	△ 36,287,403
国庫補助金収入	401,049,000	453,865,371	△ 52,816,371
地方公共団体補助金収入	563,380,000	546,851,032	16,528,968
資産運用収入	32,822,000	32,797,531	24,469
資産売却収入	650,000,000	18,694,280	631,305,720
事業収入	28,000,000	24,894,608	3,105,392
雑収入	119,919,500	141,591,162	△ 21,671,662
前受金収入	376,800,000	283,723,000	93,077,000
その他の収入	771,719,843	1,337,375,834	△ 565,655,991
資金収入調整勘定	△ 508,833,000	△ 576,098,505	67,265,505
前年度繰越支払資金	364,451,915	364,451,915	0
収入の部合計	5,779,440,258	5,621,109,273	158,330,985

支出の部

科目	予算	決算	差異
人件費支出	2,481,905,500	2,477,520,976	4,384,524
教育研究経費支出	707,011,316	746,574,894	△ 39,563,578
管理経費支出	328,774,041	317,921,925	10,852,116
施設関係支出	1,106,100,000	1,248,249,240	△ 142,149,240
設備関係支出	114,343,760	138,936,518	△ 24,592,758
資産運用支出	214,559,000	420,401,429	△ 205,842,429
その他の支出	260,325,187	305,001,551	△ 44,676,364
[予備費]	2,000,000		2,000,000
資金支出調整勘定	△ 81,102,745	△ 540,495,251	459,392,506
次年度繰越支払資金	645,524,199	506,997,991	138,526,208
支出の部合計	5,779,440,258	5,621,109,273	158,330,985

消費収支計算書

平成26年4月 1日から
平成27年3月31日まで

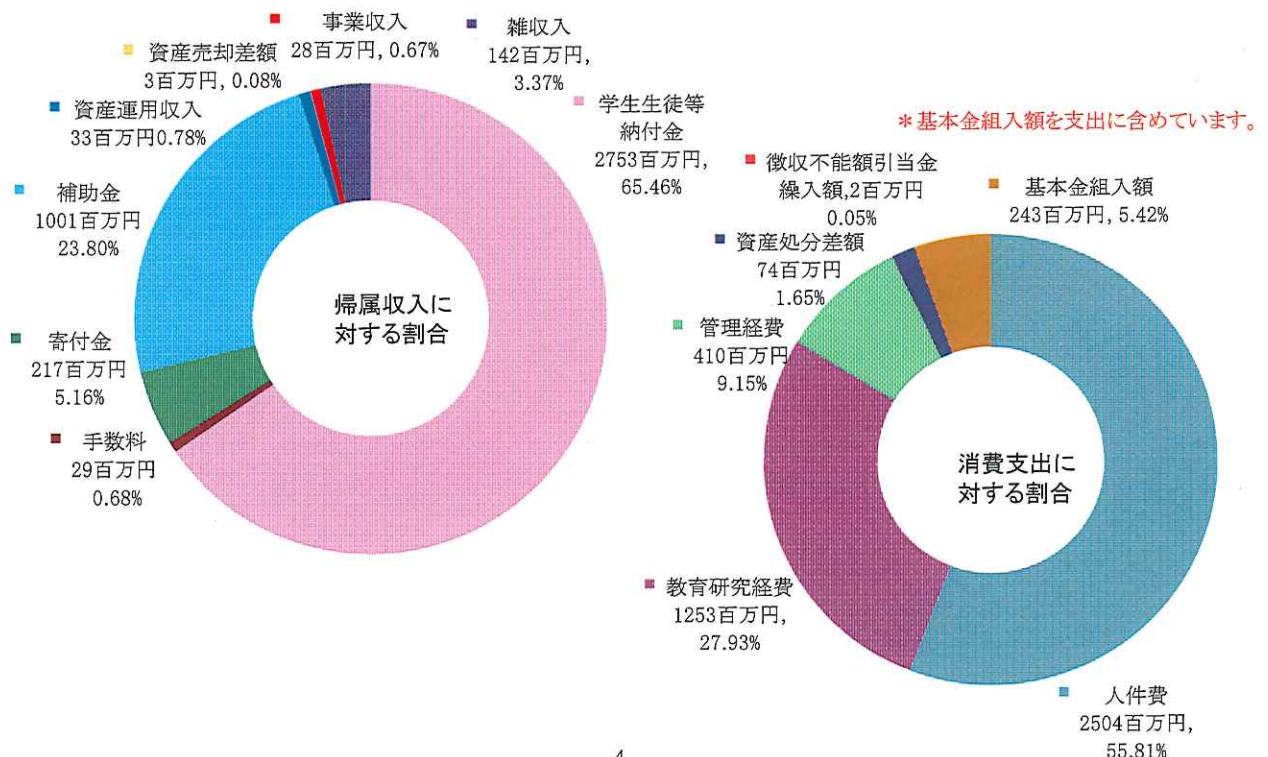
消費収入の部

(単位:円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	2,750,051,000	2,752,704,050	△ 2,653,050
手数料	33,230,000	28,763,995	4,466,005
寄付金	201,350,000	216,848,786	△ 15,498,786
補助金	964,429,000	1,000,716,403	△ 36,287,403
国庫補助金	401,049,000	453,865,371	△ 52,816,371
地方公共団体補助金	563,380,000	546,851,032	16,528,968
資産運用収入	32,822,000	32,797,531	24,469
資産売却差額	0	3,403,231	△ 3,403,231
事業収入	28,000,000	28,143,692	△ 143,692
雑収入	119,919,500	141,839,162	△ 21,919,662
帰属収入合計	4,129,801,500	4,205,216,850	△ 75,415,350
基本金組入額合計	△ 355,000,000	△ 243,041,523	△ 111,958,477
消費収入の部合計	3,774,801,500	3,962,175,327	△ 187,373,827

消費支出の部

科目	予算	決算	差異
人件費	2,464,550,000	2,504,127,106	△ 39,577,106
教育研究経費	1,201,811,316	1,253,378,449	△ 51,567,133
管理経費	453,974,041	410,320,954	43,653,087
資産処分差額	515,100,000	73,849,131	441,250,869
徴収不能額引当金繰入額	4,500,000	2,105,261	2,394,739
[予備費]	2,000,000		2,000,000
消費支出の部合計	4,641,935,357	4,243,780,901	398,154,456
当年度消費収入支出超過額	867,133,857	281,605,574	
前年度繰越消費収入支出超過額	3,007,224,120	3,007,224,120	
基本金取崩額	720,600,000	987,475	
翌年度繰越消費収入支出超過額	3,153,757,977	3,287,842,219	



貸借対照表

平成27年3月31日現在

資産の部

(単位:円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	18,935,331,708	18,803,134,034	132,197,674
有形固定資産	13,607,984,964	12,885,495,360	722,489,604
その他の固定資産	5,327,346,744	5,917,638,674	△ 590,291,930
流動資産	756,887,118	636,364,203	120,522,915
資産の部合計	19,692,218,826	19,439,498,237	252,720,589

負債の部

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	841,318,847	818,928,536	22,390,311
流動負債	854,172,516	585,278,187	268,894,329
負債の部合計	1,695,491,363	1,404,206,723	291,284,640

基本金の部

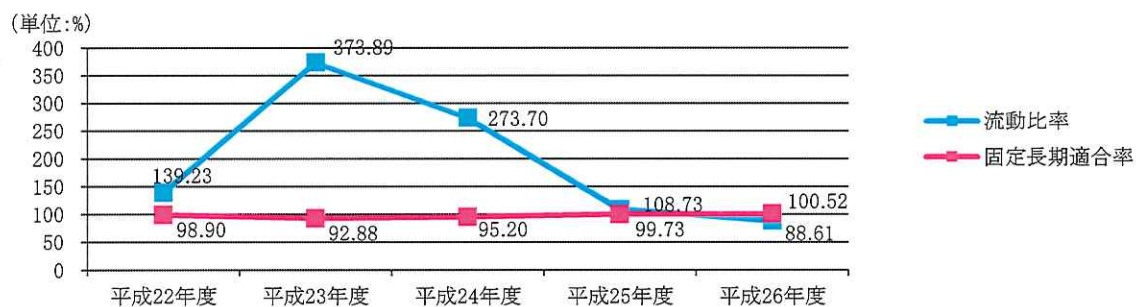
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	20,094,028,523	19,755,246,456	338,782,067
第2号基本金	746,143,207	842,871,226	△ 96,728,019
第3号基本金	126,397,952	126,397,952	0
第4号基本金	318,000,000	318,000,000	0
基本金の部合計	21,284,569,682	21,042,515,634	242,054,048

消費収支差額の部

科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	3,287,842,219	3,007,224,120	△ 280,618,099
消費収支差額の部合計	△ 3,287,842,219	△ 3,007,224,120	△ 280,618,099

科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	19,692,218,826	19,439,498,237	252,720,589

《 安全性についての財務分析 》



【流動比率】 短期の安全性についての財務指標
高いほど安全性が高い。全国大学法人平均値 : 245.9%

流動資産 ÷ 流動負債 × 100 (%)

【固定長期適合率】 長期の安全性についての財務指標
低いほど安全性が高い。全国大学法人平均値 : 91.7%

固定資産 ÷ (自己資金 + 固定負債) × 100 (%)
* 自己資金 = 基本金 + 消費収支差額


監査報告書

平成27年5月25日

学校法人ノートルダム女学院

理事長 和田 環 様

学校法人ノートルダム女学院

監事 後藤 勝 

監事 辻 孝 司 

私たちは、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの平成26会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおりに報告する。

1 監査方法の概要

- (1) 会計監査については、清友監査法人より監査方法の説明を受け、監査結果の報告を受けた。
- (2) 業務監査については、理事会に出席し、理事会の審議事項や業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など監事として必要と思われる監査手続において業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び財産目録は会計帳簿の記載額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 決算報告書の内容は適正かつ正確であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは寄附行為に違反する事実はないと認める。